

## 第2回制度改革需要家ヒアリング資料

トステム株式会社

### 1. 自由化による調達先の選択肢拡大の状況に対する評価・満足度

既存電力会社および新規参入業者の競争が生まれ、全体的なサービスが向上した。  
(相談に対する対応など)

新規参入業者に切替えることで既存電力会社より1～3%程度の引き下げが実施できた。

段階的に自由化が拡大して弊社工場においては高圧受電のすべての工場が自由化の対象となったが、電力会社の託送料金の設定が高く、実施できるのは特高受電の工場に限られるのが現状である。(11/34工場)

### 2. 今後更に事業拡大していくために克服すべき課題を可能な限り具体的に

各社サービスは横並びの状態であるため、どこを選択しても同じ状況である。  
各社特色のある事業を進めて頂きたい。

高圧需要家への展開を進めて頂きたい。

### 3. 理想とする調達形態及び現在当該調達形態を実現できない理由

自社の自家発も活用し、使用したい時に一番安い電力を内部・外部問わず購入できる仕組みをつくりたい。

上記の制約として、既存電力網利用の託送料金の高額設定が考えられる。

全社およびグループ全体での購入により価格の引下げが実施できる仕組みをつくりたい  
(スケールメリット)。上記の制約として、既存電力会社の地域分業制度が契約上・運用上の煩雑さを生み出している。

以上